

## 世界の切手に見る消防関係の切手(14)

平 岩 道 夫 (切手評論家)



(写真①)



(写真②)



(写真⑤)



(写真③)



(写真④)



(写真⑥)



(写真⑦)



(写真⑧)



(写真⑨)

本号では、まず写真①～④までの切手を、ご覧いただきたい。4種ともノーフォーク島(大洋州)から発行された切手で、(写真①)は美しい夕日をバックにした消防自動車。(写真②)は、レスキュー隊員による救助訓練、(写真③)は、聖ヨハネ救急協会の救急車、(写真④)は、警察の車をそれぞれ描いたもの。切手にはいずれも“EMERGENCY SERVICES”という文字が、はっきりと見られる異色版。

(写真⑤)は、ドイツ発行の切手で、燃えるマッチの軸を描き“マッチ一本火事の元”を表現した変わりダネ。

(写真⑥)は、キューバ発行の切手で、説明

するまでもなく、ビル火災の恐ろしさを物語った図案である。

(写真⑦)は、チリ発行の2枚の切手を納めた小型シートで、左の切手にはカナダの初期の消防ポンプ(1902年型)が、右の切手にはイギリスの初期のポンプ(1872年型)が、それぞれ描かれている。これまた大火災の恐ろしさを表現した切手というわけだ。

(写真⑧)は、モナコ発行の切手で、消火活動にあたる消防士と、生存者を捜索する救助隊員と救助犬を描いたもの。

(写真⑨)は、ポーランド発行の切手で、初期の消火活動が馬を使って行われていたことを示す図案の切手である。